

(別紙)新旧対照表

変更事項の内容

新	旧
<p data-bbox="226 368 607 400">[「構造改革特別区域計画」中]</p> <p data-bbox="226 416 344 448">1～4 略</p> <p data-bbox="226 464 667 496"><b>5 構造改革特別区域計画の意義</b></p> <p data-bbox="226 512 1093 687">I T技術の高度化や情報化の進展に伴い、企業、地域におけるI T人材の必要性も高まることが予想される。また、今後一層の少子化が加速し、若年層の労働者人口が大幅に減少していくことから、職業能力開発を積極的に支援する取組みが求められている。</p> <p data-bbox="226 703 1093 975">このため、情報処理に関する業務を行う者の技術の向上に資するために必要な知識及び技能についての国家試験である「基本情報技術者試験」に係る特例措置を活用して講座を開設し、効果的かつ効率的な学習を支援することで、多くのI T人材の育成・輩出を目指していくとともに、若年層の職業能力開発を支援し、進学や就職の一助となることを目指していく。</p> <p data-bbox="226 991 1093 1262">このことは、将来的には複数の講座開設者が学生向けに、あるいは社会人、一般区民向けに講座を開設することで、社会人のスキルアップ、キャリアアップや区民の生涯学習への支援に資することが予想されるほか、区内に資格取得を目指す学生や求職者などの流入によって、地域の一層の活性化へとつながっていくことも期待できるため、本計画を実施する。</p>	<p data-bbox="1122 368 1503 400">[「構造改革特別区域計画」中]</p> <p data-bbox="1122 416 1240 448">1～4 略</p> <p data-bbox="1122 464 1563 496"><b>5 構造改革特別区域計画の意義</b></p> <p data-bbox="1122 512 1989 687">I T技術の高度化や情報化の進展に伴い、企業、地域におけるI T人材の必要性も高まることが予想される。また、今後一層の少子化が加速し、若年層の労働者人口が大幅に減少していくことから、職業能力開発を積極的に支援する取組みが求められている。</p> <p data-bbox="1122 703 1989 1023">このため、情報処理に関する業務を行う者の技術の向上に資するために必要な知識及び技能についての国家試験である「<u>初級システムアドミニストレータ試験</u>」と「基本情報技術者試験」に係る特例措置を活用して講座を開設し、効果的かつ効率的な学習を支援することで、多くのI T人材の育成・輩出を目指していくとともに、若年層の職業能力開発を支援し、進学や就職の一助となることを目指していく。</p> <p data-bbox="1122 1038 1989 1310">このことは、将来的には複数の講座開設者が学生向けに、あるいは社会人、一般区民向けに講座を開設することで、社会人のスキルアップ、キャリアアップや区民の生涯学習への支援に資することが予想されるほか、区内に資格取得を目指す学生や求職者などの流入によって、地域の一層の活性化へとつながっていくことも期待できるため、本計画を実施する。</p>

## 6 構造改革特別区域計画の目標

特例措置に基づく講座開設事業を予定する事業者においては、情報処理技術者の効果的な育成を図るための教育内容の整備がさらに進められることになる。また、修了者に対する基本情報処理技術者試験の午前試験の免除により、受験者の効率的かつ体系的な学習が可能になることに加え、本番試験での負担が軽減される。

このことから、当該試験の合格率の向上及び合格者数の増加が期待でき、学生や求職者の資格取得を促進することが見込まれる。

## 7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

本特例措置に基づく講座開設事業を実施することで、基本情報技術者試験に係る資格取得が促進され、IT人材育成の機会が増加する。学生や求職者がこれらの資格を取得しやすくなることは、就職支援の一助となる。

また、資格取得者の区内企業への就職が期待されるとともに、将来的には複数の区内事業者が学生向けに、あるいは社会人、一般住民向けに講座を開設することで、社会人のスキルアップ・キャリアアップに資することが予想され、地域の一層の活性化が期待される。

## 6 構造改革特別区域計画の目標

特例措置に基づく講座開設事業を予定する事業者においては、情報処理技術者の効果的な育成を図るための教育内容の整備がさらに進められることになる。また、修了者に対する初級システムアドミニストレータ試験及び基本情報処理技術者試験の午前試験の免除により、受験者の効率的かつ体系的な学習が可能になることに加え、本番試験での負担が軽減される。

このことから、当該試験の合格率の向上及び合格者数の増加が期待でき、学生や求職者の資格取得を促進することが見込まれる。

## 7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

本特例措置に基づく講座開設事業を実施することで、初級システムアドミニストレータ試験や基本情報技術者試験に係る資格取得が促進され、IT人材育成の機会が増加する。学生や求職者がこれらの資格を取得しやすくなることは、就職支援の一助となる。

また、資格取得者の区内企業への就職が期待されるとともに、将来的には複数の区内事業者が学生向けに、あるいは社会人、一般住民向けに講座を開設することで、社会人のスキルアップ・キャリアアップに資することが予想され、地域の一層の活性化が期待される。

<p>8 特定事業の名称 <u>(削除)</u></p> <p>1 1 3 2 ( 1 1 4 4、 1 1 4 6 ) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>9 略</p>	<p>8 特定事業の名称 <u>1 1 3 1 ( 1 1 4 3、 1 1 4 5 )</u> <u>修了者に対する初級システム試験を免除する講座開設事業</u></p> <p>1 1 3 2 ( 1 1 4 4、 1 1 4 6 ) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>9 略</p>
--	--

別紙 1

(削除)

別紙

1 略

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

(1) 講座の開設者

有限会社フォーティ フォーティネットパソコンスクール

所在地:東京都台東区浅草 2-2-1 森田ビル 2 階

② (削除)

(2) 略

3 略

4 特定事業の内容

(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画

以下の講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。

別紙 1

別紙 2

1 略

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

(1) 講座の開設者

① 有限会社フォーティ フォーティネットパソコンスクール

所在地:東京都台東区浅草 2-2-1 森田ビル 2 階

② 学校法人華学園 華学園ビジネス専門学校

所在地:東京都台東区根岸 2-1-4

(2) 略

3 略

4 特定事業の内容

(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画

以下の講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。

有限会社フォーティ フォーティネットパソコンスクール  
 基本情報技術者講座（履修計画:別添資料のとおり）

②（削除）

(2)(3) 略

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称:情報処理技術者能力認定試験(2級)

試験科目:情報処理技術者能力認定試験(2級第1部)

当該民間資格を取得するための試験の試験項目:表に示すとおり

試験項目	
テクノロジー系	1 基礎理論
	1 基礎理論
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など
	確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など
	符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など
	伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）

① 有限会社フォーティ フォーティネットパソコンスクール  
 基本情報技術者講座（履修計画:別添資料2のとおり）

② 学校法人華学園 華学園ビジネス専門学校

基本情報技術者試験対策講座（履修計画:別添資料3のとおり）

(2)(3) 略

(4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目

資格名称:情報処理技術者能力認定試験(2級)

試験科目:情報処理技術者能力認定試験(2級第1部)

当該民間資格を取得するための試験の試験項目:表に示すとおり

試験項目	
1 情報の基礎理論	
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算、符号理論
	状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語
	計算量と情報量
2 データ構造とアルゴリズム	
	データ構造、アルゴリズムの基礎
	流れ図、決定表、BN 記法、ポーランド記法
	各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率

	2	アルゴリズムとプログラミング	3	ハードウェア				
		データ構造 (スタックとキュー、二分木、リストなど)		半導体と集積回路				
		流れ図の理解、アルゴリズム (整列、探索、併合など)		プロセッサ、動作原理				
		プログラム構造、データ型など		メモリ、記憶媒体、補助記憶装置				
			プログラム言語 (種類と特徴など)		入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体			
	2	コンピュータシステム			コンピュータの種類と特徴			
		3	コンピュータ構成要素		4	基本ソフトウェア		
			コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど			OSの種類と構成		
			主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど			プロセス管理、割込み制御		
			補助記憶装置や媒体 (種類と特徴、性能計算など)			主記憶管理、仮想記憶		
			入出力インタフェース (種類と特徴など)			入出力制御、ジョブ管理		
			入出力装置 (種類と特徴、性能計算など)			ファイル管理、障害管理		
		4	システム構成要素			ヒューマンインタフェース、日本語処理		
			システムの利用形態、システム構成など			ミドルウェア		
			クライアントサーバシステム、RAID など			5	システム構成と方式	
			システムの性能、信頼性、経済性など				システム構成方式、処理形態	
		5	ソフトウェア				システム性能、信頼性	
			オペレーティングシステム (タスク管理、記憶管理など)				応用システム	
			ミドルウェア (API、ライブラリ、シェルなど)				6	システム開発と運用
			ファイルシステム (ディレクトリ、ファイル編成など)					プログラム構造、制御構造
			言語処理ツール (コンパイラ、リンカ、ローダなど)					プログラム言語、言語処理系
			CASE、エミュレータ、シミュレータなど					EUC、EUD、ソフトウェアの利用
		6	ハードウェア					開発手法、設計手法、テスト手法
			基本論理回路、組合せ回路など					
		3	技術要素					
			7					
			ヒューマンインタフェース					
			GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など					
		8						
		マルチメディア						

	オーサリングツール、JPEG、MPEG など		システムの環境整備、運用管理
9	データベース	7	ネットワーク技術
	データベースのモデル、DBMS など		プロトコルと伝送制御
	データ分析、データベースの設計、データの正規化など		符号化と伝送技術
	データ操作、SQL など		LAN とインターネット
	排他制御、障害回復、トランザクション管理など		電気通信サービス
	データウェアハウス、データマイニングなど		ネットワーク性能
10	ネットワーク		伝送媒体、通信装置
	インターネット（各種プロトコル、IP アドレスなど）		ネットワークソフト
	LAN と WAN（トポロジ、回線、DSU、モデムなど）	8	データベース技術
	LAN のアクセス制御方式、LAN 間接続装置など		データベースモデル
	OSI 基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など		データの分析・正規化
	ADSL、FTTH、CATV 回線、イントラネットなど		データ操作
11	セキュリティ		データベース言語、SQL の利用
	暗号技術、認証技術、利用者確認など		DBMS の機能と特徴
	ウイルスの種類と特徴、ウイルス対策など		データベース制御機能（排他制御、リカバリ）
	不正アクセス、不正侵入、不正行為の種類と対策など	9	セキュリティ
4	開発技術		セキュリティ対策
	12 システム開発技術		プライバシー保護
	業務分析と要件定義（DFD、E-R 図、UML など）		ガイドライン
	モジュール分割と独立性、オブジェクト指向など	10	標準化
	構造化プログラミング、コーディングなど		情報システム基盤の標準化
	テスト手法、レビュー手法、デバッグツールなど		データの標準化
	13 ソフトウェア開発管理技術		

		ソフトウェア開発手法（スパイラルモデルなど） SLCP、リバースエンジニアリングなど		標準化組織
マネジメント系	5	プロジェクトマネジメント	5	11 情報化と経営
	14	プロジェクトマネジメント コスト見積り（ファンクションポイント法など） 日程計画（アローダイアグラムなど） 進捗管理、品質管理、コスト管理など		経営管理（経営戦略、組織と役割、マーケティングなど） 情報化戦略（業務改善など） IE 分析手法、管理図 確率と統計 最適化問題、意志決定理論 情報システムの活用（ビジネスシステム、企業間システムなど） 関連法規（情報通信、知的財産権）
	6	サービスマネジメント		
	15	サービスマネジメント ITIL（サービスサポート、サービスデリバリなど） コンピュータの運用・管理、システム移行など		
	ストラテジ系	7		システム戦略
		17		システム戦略 業務プロセス（業務改善、BPR、SFA など）
8		経営戦略		
19		経営戦略マネジメント 経営戦略手法（コアコンピタンス、PPM など） マーケティング理論、マーケティング手法など 経営管理システム（CRM、SCM、ERP など）		
21		ビジネスインダストリ ビジネスシステム（POS システム、EOS など） エンジニアリングシステム（CAD、CAM、MRP など） e-ビジネス（EC、EDI、RFID など）		
9		企業と法務		
22		企業活動 経営組織（事業部制組織、CIO など） ヒューマンリソース（OJT、CDP、MBO など） 経営管理と問題発見技法（PDCA、KJ 法など） OR・IE（線形計画法、品質管理、在庫問題など） 会計・財務（財務会計、管理会計、リースなど）		



23 法務

知的財産権（著作権、産業財産権など）

ガイドライン（ソフトウェア管理ガイドラインなど）

標準化団体（JIS、ISO、IEEE など）

各種コード（文字コード、QR コード、ISBN コードなど）

補助単位（T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ）

5 略